

2026年度 福岡県工業技術センタークラブ総会 次第

日時： 2026年7月21日(火) 13:00～

場所： 福岡リーセントホテル 舞鶴の間

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

第1号議案	2025年度事業報告(案)について	資料1(1～7頁)
第2号議案	2025年度収支決算書(案)について	資料2(8～9頁)
第3号議案	2026年度事業計画(案)について	資料3(10～14頁)
第4号議案	2026年度収支予算書(案)について	資料4(15頁)
第5号議案	会費の改定(案)について	資料5(16～18頁)
第6号議案	役員の選任(案)について	資料6(19～20頁)

4. 閉会

【添付：総会資料集】

・会員名簿	資料集1～3頁
・役員名簿	資料集4頁
・2025年度福岡県工業技術センタークラブ活動実績表	資料集5頁
・2025年度先端技術シンポジウム収支決算書	資料集6頁
・2025年度4部会事業費明細	資料集7頁
・福岡県工業技術センタークラブ会則	資料集8～11頁
・議事説明資料	資料集12～27頁

2025年度 事業報告（案）

国際・経済情勢、物価高騰、労働力不足など環境の変化に対応しながら、県内ものづくり中小企業の多様で活力ある成長発展を進めていくためには、「高付加価値製品の開発」や「生産性の向上」は必要不可欠です。

センタークラブ活動においては、会員企業の積極的な交流を通じた相互連携および共創体制の構築を目的とし、「先端技術シンポジウム」ならびに交流会を開催いたしました。また、先進的な技術開発に果敢に取り組む会員企業とともに「モノづくりフェア 2025」へ出展し、企業の成長を支援する活動を展開いたしました。

1. 会員数（2026年3月31日現在）

273機関（14機関増、9機関減）

ナノテク・材料技術部会： 121機関
バイオ技術部会： 83機関
デザイン部会： 66機関
機械・電子技術部会： 121機関（技術部会は重複参加可能）

【2025年度入会】

日進化学(株)、(同)ギャランドゥ、(有)カホテクノ、(株)MH ホールディングス、
(株)Braveridge、日医製薬(株)、新北九州工業(株)、グリーンハウス(株)、PinkieTech(株)、
(株)関門経済研究所、(株)みなの樹、(株)リーディングラボ、(株)Fact Base、(株)バイオ・
シータ
以上 14機関

【2025年度退会】

ベルテクネ(株)、(有)平和化工、(株)嘉穂製作所、福岡化成工業(株)、オーム乳業(株)、
もぐもぐぽけっと(株)、柳河エンジニアリング(株)、(株)イマムラ・スマイル・コーポレーション、
SE-DAS(株)
以上 9機関

2. 理事会

【開催日】2025年5月22日(木)

【場 所】福岡県工業技術センター

【内 容】2025年度総会の開催及び付議事項について

3. 総会

【開催日】2025年7月24日(木)

【議 案】・2024年度事業報告（案）について
・2024年度収支決算（案）について
・2025年度事業計画（案）について
・2025年度収支予算（案）について
・役員選任（案）について

4. 先端技術シンポジウム

4-1 センタークラブ先端技術シンポジウム

【開催日】 2025年7月24日（木）

【場 所】 福岡リーセントホテル

舞鶴の間(シンポジウム)、レインボーホール(交流会)

【参加者】 190名（シンポジウム）、92名（交流会）

【内 容】

<特別講演>

『Brave JIGを活用してWebエンジニアが簡単IoT構築
～Webエンジニアだけで革新的なIoTを実現できるソリューション～』
株式会社Braveridge 代表取締役社長 小橋 泰成 氏

<会員成果事例発表>

- ・(有)鬼丸雪山窯元（ナノテク・材料技術部会）
- ・(有)カホテクノ（バイオ技術部会）
- ・九州木材工業(株)（デザイン部会）
- ・アスカコーポレーション(株)（機械・電子技術部会）

<特別会員からの支援メニュー紹介>

- ・(公財) 飯塚研究開発機構

<ポスター発表>

- ・会員機関：(株)博有、(同)ギャランドゥ、(株)メイホー、(株)総桐筆筥和光、
(株) Braveridge、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、
(公財)飯塚研究開発機構、(株)久留米リサーチ・パーク、
福岡県中小企業生産性向上支援センター 9件
- ・工業技術センター：20件

4-2 2026年度センタークラブ先端技術シンポジウム実行委員会

【開催日】 2026年1月22日（木）

【場 所】 オンライン開催

【内 容】

- ・2026年度委員長の選出
委 員 長：塩田 聖一 氏（株）CGS ホールディングス
- ・2025年度センタークラブ先端技術シンポジウム開催報告
- ・2026年度センタークラブ先端技術シンポジウムの実施内容について
- ・福岡県工業技術センタークラブの今後の活動について

5. その他の事業

5-1 「生産性向上研究会」

・IoT関連技術実習セミナー

- ・個別セミナー（計19回、21社、40名）

会場	回数	日程
相手先企業	16	4/2、5/9、6/16、6/19、7/11、 7/31、9/1、9/9、9/11、9/17、 11/10、11/13、1/20、3/10、 3/10、3/27
機械電子研究所	3	5/13、5/15、9/17

・IoT活用勉強会（センタークラブ会員のみ）

- ・第1回活用勉強会

日 時：3月12日（木） 14:00～16:00

会 場：ロケット石鹼株式会社（嘉麻市山野 2091）

参加者：3社7名

内 容：ロケット石鹼株式会社のIoT取組紹介及び工場見学
BraveJIG 及び YokaKit の紹介
各社の進捗状況報告・意見交換

- ・IoT導入支援キットオープンソースソフトウェアの無償提供

内 容：「IoT導入支援キット Ver. 4」の技術情報とソフトウェア（オープンソースソフトウェア）を工業技術センターホームページ上で無償提供中

- ・生産進捗管理システムYokaKitオープンソースソフトウェアの無償提供

内 容：「生産進捗管理システムYokaKit」の技術情報とソフトウェア（オープンソースソフトウェア）を工業技術センターホームページ上で無償提供中

- ・技術支援

- ・会議（来所、オンライン）、メール、電話による技術フォロー
- ・メーリングリストによる補助金、技術セミナー等の情報提供

5-2 工業技術センターおよび会員相互の連携

- ・工業技術センター成果発表会の共催
2025年10月16日（木）
来場者数：154名
- ・会員名簿作成（2026年1月発行）

5-3 技術情報の提供等

- ・メール等による助成事業、技術講演会等の情報提供（53回、168件）

5-4 会員の製品・技術のPRによる販路拡大支援

- ・モノづくりフェア2025
期 間：2025年10月15日（水）～10月17日（金）
内 容：会員公募により3社の出展を決定。
出展会員：第一高周波工業(株)、(株)博有、藤井精工(株)
フェア来場者数：376名（3日間、3社合計）

5-5 工業技術センタークラブのPR

- ・モノづくりフェア2025
期 間：2025年10月15日（水）～10月17日（金）
内 容：パネル展示等によるセンタークラブの活動や成果事例の紹介

6. 技術部会活動実績

センタークラブの活動の主体である部会活動については、各部会委員会において技術講演会、設備見学会等を23回（2025年度：28回、2024年度：31回）実施した。

6-1 ナノテク・材料技術部会

ナノテク・材料技術部会では、技術講演会や施設見学会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第1回	2025.7.24	福岡リーセントホテル	・部会委員について ・2024年度活動実績・決算報告について ・2025年度事業計画案、事業予算案について
第2回	2026.3.5	Web開催	・2025年度活動状況・予算執行状況について ・2026年度事業計画案・事業予算案について ・2026年度委員案について

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第1回	2025.6.20	化学繊維研究所 ・オンライン ハイブリッド開催	技術講習会 「AI活用ものづくりセミナー」	73名 うち会員 10名(7機関)
第2回	2025.9.12	シャボン玉石けん(株) (北九州市)	施設見学会	16名 うち会員 6名(5機関)
第3回	2025.11.25	オンライン開催	技術講演会 「企業の技術情報流出のリスクとその防止策」	19名 うち会員 1名(1機関)

第 4 回	2025.12.17	筑後染織協同組合(筑後市)	技術講習会 「繊維技術講習会」	14 名 うち会員 11 名(11 機関)
第 5 回	2026.3.5	オンライン開催	技術講習会 「レーザー回折/散乱式粒度分布測定の基本 と多様な測定方法」	15 名 うち会員 4 名(4 機関)

6-2 バイオ技術部会

バイオ技術部会では、技術講習会や施設見学会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第 1 回	2025.7.24	福岡リーセントホテル	・2025年度事業計画、予算 等
第 2 回	2026.3. 9	オンライン開催	・2025年度事業報告 ・2026年度予算・活動予定 等

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第 1 回	2025.5.7 ～5.8	生物食品研究所	技術講習会 微生物取扱い実習(第1回)	12 名 うち会員 12 名(7 機関)
	2025.6.18 ～6.20	生物食品研究所	技術講習会 微生物取扱い実習(第 2 回)	
	2025.8.26 ～8.28	生物食品研究所	技術講習会 微生物取扱い実習(第 3 回)	
	2025.1.28 ～1.30	生物食品研究所	技術講習会 微生物取扱い実習(第 4 回)	
	2026.2.4 ～2.6	生物食品研究所	技術講習会 微生物取扱い実習(第 5 回)	
	2026.2.18 ～2.20	生物食品研究所	技術講習会 微生物取扱い実習(第 6 回)	
第 2 回	2025.11.26	JR博多シティ	講演会 「食品変質抑制技術セミナー」	38 名 うち会員 17 名(13 機関)
第 3 回	2026.1.27	(株)資生堂 福岡久留米工場 (久留米市)	施設見学会	28 名 うち会員 20 名(8 機関)

6-3 デザイン部会

デザイン部会では、技術講習会、施設見学会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第 1 回	2025.7.24	福岡リーセントホテル	・技術講習会「専用機材なしでも魅せる写真が上手 に撮れる講座と実習」の開催について ・企業見学「九州国立博物館のバックヤードツアー、及 び大宰府天満宮仮殿、竈門神社の見学」について
第 2 回	2026.3.5	インテリア研究所	・2025 年度 デザイン部会事業実績 ・2025 年度 決算報告

			・今後のセンタークラブ部会事業についての協議 ・2026 年度 デザイン部会事業計画案 ・2026 年度 予算計画案 他
--	--	--	--

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第 1 回	2025.11.19	インテリア研究所	技術講習会(座学・基礎編) 『プロが教える！魅せる商品写真撮影術』 ～基礎編 ～「小物ブツ撮り&食べ物撮影で学ぶ！ 魅せる構図とライティング」～	30 名 うち会員 6 名(5 機関)
	2025.12.10	インテリア研究所	技術講習会(実践編) 『プロが教える！魅せる商品写真撮影術』 ～実践編 ～「貴社製品を最高の 1 枚に！個別撮影 指導&作品完成」～	22 名 うち会員 5 名(4 機関)
第 2 回	2026.1.16	・竈門神社、太宰府 天満宮 仮殿・宝物 殿、及び九州国立 博物館 (太宰府市)	施設見学会 「～九州国博バックヤードと神社のアー トな建築～」	18 名 うち会員 4 名(3 機関)

6-4 機械・電子技術部会

機械・電子技術部会では、展示会出展、技術講演会及び施設見学会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第 1 回	2025.7.30	機械電子研究所	・2025 年度委員会委員・事務局の体制 ・福岡県工業技術センタークラブ及び機械・電子技術部会の 目的と活動 ・2024 年度部会事業実績報告(確定版) 他
第 2 回	2026.1.23	藤井精工(株)	・2025 年度事業実績及び収支実績中間報告 (2026.01.23 現況) ・2026 年度事業計画及び収支予算の検討
第 3 回	2024.3.3 ～3.15	書面会議	・2025 年度実績報告、収支報告(見込) ・2026 年度事業計画(方針検討) 他

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第 1 回	2025.7.2 ～7.4	西日本総合展示場 新館	展示会出展 ロボット産業マッチングフェア北九州 2025 ・機械電子技術部会及び機械電子研究 所の活動展示 ・部会員企業(新日本非破壊検査(株))と の共同研究成果展示 ・生産性向上研究会開発品のでも	延べ来場者数 17,023 人 延べブース来場 者数 107 人
第 2 回	2025.7.15	機械電子研究所	技術講演会(材料技術関係) 第一回レーザ技術活用セミナー	43 名 うち会員 12 名(9 機関)

第3回	2025.9.30	機械電子研究所	技術講演会(機械技術関係) CAE を活用した実践的なデジタルものづくり支援セミナー	28 名 うち会員 10 名(6 機関)
第4回	2025.10.6	機械電子研究所	技術講演会(生産技術関係) 金属粉末射出成形の最新技術と適用事例	35 名 うち会員 10 名(8 機関)
第5回	2025.10.31	機械電子研究所	技術講演会(電子技術関係) EMC 対策基礎セミナー ～ノイズフィルタの基礎と対策事例～	14 名 うち会員 5 名(3 機関)
第6回	2025.12.8	機械電子研究所	技術講演会(共通分野) AIを知ろう！(3部構成)	33 名 うち会員 22 名(12 機関)
第7回	2026.1.23	藤井精工(株) (鞍手町)	施設見学会	27 名 うち会員 14 名(10 機関)

7. 2025年度共同研究実績など

センタークラブ会員が福岡県工業技術センターと連携して研究開発課題を解決するために、2025年度は共同研究開発プロジェクトを30件実施しました。

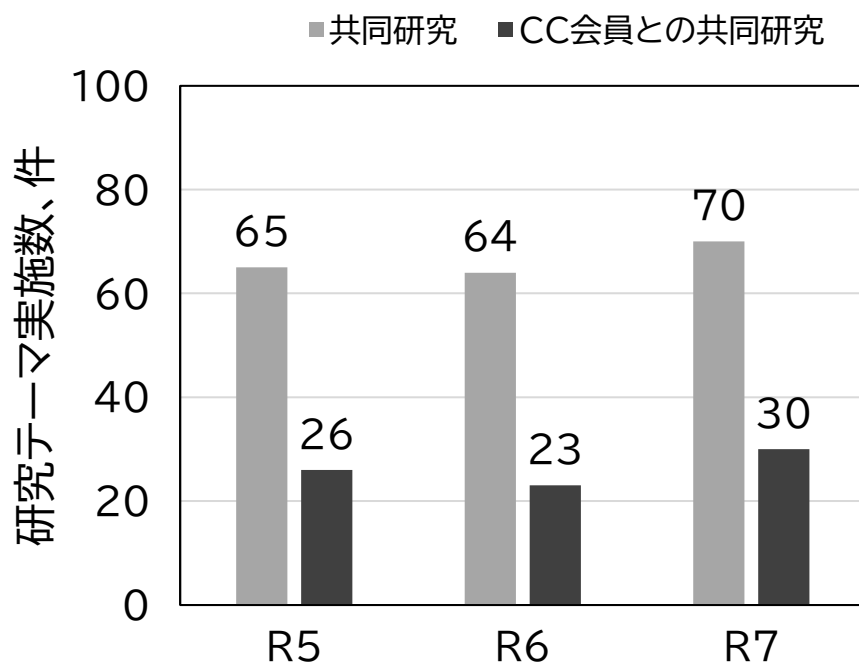


図 会員企業と工業技術センターとの共同研究実績の推移

2025年度 福岡県工業技術センタークラブ収支決算書(案)

2025年4月1日から2026年3月31日

1. 収入の部

単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
前年度繰越	1,127,386	1,127,386	0	
会費	2,540,000	2,500,000	▲ 40,000	福銀202万円、西銀48万円
先端シンポ	300,000	252,000	▲ 48,000	@3,000×84名 交流会費
その他	100	3,065	2,965	利息(事務局) 2,303 利息(技術部会) 762
収入の部合計	3,967,486	3,882,451	▲ 85,035	

2. 支出の部

単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
会議費	5,000	1,895	-3,105	開催案内等の郵送費 0 理事会のお茶代 1,895
事業費	3,110,000	2,720,850	-389,150	事業費合計 2,720,850
	1,400,000	1,398,965	-1,035	先端技術シンポ開催費 1,396,385
	100,000	93,082	-6,918	次年度先端技術シンポ実行委員会費 2,580
	750,000	674,410	-75,590	生産性向上研究会 93,082
				工業技術センタークラブPR活動費 674,410
				新聞広告代等 77,550
				モノづくりフェア2025出展費 596,860
	60,000	43,213	-16,787	工業技術センター研究成果発表会、モノづくりフェア 43,213
				郵送費 9,030
				チラシ印刷代 4,655
				事務用品 29,528
	800,000	511,180	-288,820	技術部会事業費 511,180
事務費	150,000	137,870	-12,130	ナノテク・材料技術部会 92,330 バイオ技術部会 142,890 デザイン部会 197,314 機械・電子技術部会 78,646
予備費	702,486	0	-702,486	郵送費 102,300 事務用品 35,570
合計	3,967,486	2,860,615	-1,106,871	0
繰越金	0	1,021,836	1,021,836	各部会の繰越金を含む
支出の部合計 (繰越金含む)	3,967,486	3,882,451	-85,035	

2026年 5 月 15 日

福岡県工業技術センタークラブ

会長 小笠原 浩 様

福岡県工業技術センタークラブ

監事 中島 幹雄



監事 藤 浩太郎



福岡県工業技術センタークラブ会則第9条第4項の規定により、下記のとおり
監査を行いましたので報告します。

記

1. 監査年月日： 2026年 5 月 15 日
2026年 4 月 16 日
2. 監査の対象： 2025年度事業及び決算
3. 監査の結果： 帳簿、証拠書類の照合を行った結果、計数に
相違なく正確であると認められる。

2026年度 事業計画（案）

1. 基本理念

原材料価格の高騰や人件費の上昇が続く中で、県内ものづくり企業が多様で活力ある成長を堅持し、さらなる飛躍を遂げるためには、「高付加価値製品の開発」と「生産性の向上」の取組強化がこれまで以上に不可欠である。センタークラブでは、工業技術センターを中心に、他の試験研究機関、大学、産業支援機関、金融機関等と、会員企業が積極的に連携することで、先進的な技術開発へ果敢に取り組む会員企業の課題の解決を図るとともに、会員企業の積極的な交流を通じた相互連携、共創体制の構築により、着実な企業成長に繋げることを活動の基本理念とする。

2. 基本方針

① 新技術・独自技術の開発に果敢に取り組むものづくり企業の支援

- ・新技術開発に向けた機運醸成及び最新技術に関する情報提供
- ・国や県等の補助金などに関する情報提供
- ・ものづくり企業の根幹を担う人材の育成
- ・生産性向上に関する支援の強化

② 会員企業間および工業技術センターとの連携強化支援

- ・革新的技術開発に取り組む企業の事例紹介や情報交換会の開催
- ・会員企業ニーズの把握と課題解決に向けたマッチング

③ 販路拡大支援

- ・新技術や新製品など、開発成果の積極的な発信による取引拡大支援

3. 事業

(1) 理事会

2026年5月29日（金）

- ・2026年度総会の付議事項について

(2) 総会

2026年7月21日（火）

【時間】 13:00～13:30

【会場】 福岡リーセントホテル（舞鶴の間）

- ・2025年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
- ・2026年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・会費の改定（案）について
- ・役員の選任（案）について

(3) 先端技術シンポジウム

(3-1) センタークラブ先端技術シンポジウム

2026年7月21日(火)

【時間】 14:00～17:10

【会場】 福岡リーセントホテル(福岡市東区箱崎2丁目52-1)

【内容】

① 開会あいさつ

(10分)

先端技術シンポジウム実行委員会 委員長 塩田 聖一
福岡県 副知事 江口 勝(予定)

② 特別講演

(60分)

『日本のモノづくりが医療機器で花開いた奇跡』

藤井精工株式会社

医療事業部長 兼 責任技術者 蔵前 法文 氏

休憩

(10分)

③ 会員企業の成果事例発表

(15分×4テーマ)

『国産天然染料「ウルシ」の新しい草木染め 黄漆染(こうしつぜん)』

有限会社明光メディカル 三木 博文 氏

化学繊維研究所 繊維技術課 泊 有佐

『再生医療に必要な、高品質な幹細胞の生産に資する完全閉鎖系自動培養装置の開発』

株式会社アステック 坂井 孝則 氏

生物食品研究所 生物資源課 古賀 慎太郎

『「何に塗る？」 漆で仕上げるプロダクト(アイテム・デザイン)の開発』

漆工房 岩弥 代表 近松 敏夫 氏

スタジオ・ヨー 溝口 瑛 氏

インテリア研究所 技術開発課 隈本 あゆみ

『溶接レス、カシメ接合技術 Jmec の開発』

松本工業株式会社 取締役技監 早川 弘幸 氏

機械電子研究所 機械技術課 内野正和、中井大地

④ 会員企業及び工業技術センターのポスター発表

(60分)

・会員機関: 4件

(株)SING、位登産業(株)、(株)バイオ・シータ、アスカコーポレーション(株)

・特別会員: 3件

(公財)飯塚研究開発機構、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、

(株)久留米リサーチ・パーク

・工業技術センター: 21件

(3-2) 2027年度センタークラブ先端技術シンポジウム実行委員会(2026年12月)

・2026年度センタークラブ先端技術シンポジウム開催報告

・2027年度実施内容について

(4) その他の事業

(4-1) 「生産性向上研究会」

- ・技術セミナーの開催
- ・機械電子研究所で開発した「IoT導入支援キット」による生産性向上支援、技術情報とソフトウェアの無償提供
- ・機械電子研究所で開発した「生産進捗管理システムYokaKit」による生産性向上支援、技術情報とソフトウェアの無償提供
- ・現場での実測を通じたハンズオン支援
- ・各社活用事例の紹介や測定ノウハウ情報の共有化
- ・IoT活用勉強会
 - IoTを活用した生産性向上に関する取組紹介・意見交換
 - ・内 容： 現場における「見える化」により実現した「省力化」や「生産性向上」の効果を金額換算等の手法により検証
 - ・必要機材：福岡県工業技術センタークラブが準備、貸出
 - ・成 果：IoT活用勉強会で共有、意見交換
 - AIの導入に向けた意見交換
 - ・現場で使える画像認識AI（異常検知や外観検査）

(4-2) 工業技術センターおよび会員相互の連携

- ・工業技術センター成果発表会の共催
- ・会員名簿の作成

(4-3) 技術情報の提供等

- ・メール等により、提案公募型事業、講演会、セミナー等の技術情報について、迅速な情報提供を行う。
- ・技術支援機関、関係団体等との連携

(4-4) 会員の製品・技術のPRによる販路拡大支援

- ・モノづくりフェア2026において、工業技術センタークラブのブースを設け、会員企業の販路拡大支援として、会員企業と共同で出展する。

(4-5) 工業技術センタークラブのPR

- ・展示会等への出展
 - モノづくりフェアにおいて、センタークラブの活動や成果事例を紹介し、会員増加の促進を図る。
- ・工業技術センター利用企業へのセンタークラブの案内を実施
- ・パンフレットおよびホームページ等に成果や事業の実績を紹介

(4-6) 特別会員との連携

- ・会員企業の新たな連携の促進や事業展開のために、特別会員が実施している企業向け支援メニューの紹介等を進める。

(5) 技術部会の活動計画

- ・会員への訪問や技術部会を通して会員のニーズを把握し、講習会や見学会などの部

- 会活動や、より目的を絞った研究会活動等を行う。
- ・各部会の会員ニーズに基づき、工業技術センターとの連携を密にし、提案公募型研究開発事業へ積極的に提案を行う。

(5-1) ナノテク・材料技術部会

ナノテク・材料技術部会では、会員企業の「高分子材料開発支援ラボ」、導入機器の積極的な活用を促すとともに、会員ニーズに応じた講習会等の実施を予定。

委員会：第1回 2026年7月21日 福岡リーセントホテル

- ・部会委員について
- ・2024年度活動実績、決算報告について
- ・2025年度事業計画、事業予算について 等

第2回 2027年3月 化学繊維研究所

- ・2026年度状況報告、2027年度運営案について

技術部会：第1～5回 2026年7月～2027年3月

講習会3回、講演会1回、見学会（アイリスオーヤマ鳥栖工場、ダイハツ九州等を予定）1回、研究会随時開催（予定）

(5-2) バイオ技術部会

バイオ技術部会では、福岡バイオコミュニティと積極的に連携し、技術セミナーや機器講習会、企業見学会等を実施。部会会員企業の支援（国補助金獲得支援、技術課題への対応等）の実施を予定。

委員会：第1回 2026年7月21日 福岡リーセントホテル

- ・2026年度技術部会の体制について
- ・2026年度事業計画、事業予算について

第2回 2027年3月

- ・2026年度実績報告・2027年度事業方針について

技術部会：2026年4月～2027年3月

講演会・講習会： 要望に応じて実施、見学会1回（予定）

(5-3) デザイン部会

デザイン部会では、会員企業の「家具試作支援ラボ、家具評価支援ラボ」(2019年5月開設)の積極的な活用を図るために、導入された試作用機器、評価用機器などの講習会等の実施を予定。

また、広報デザイン力の向上を目的とした「写真撮影講座」「デジタル画像データの編集法」「3DCGの講習・実習会」や製造現場向けの「接着剤についての講座」などの実施を検討中。

委員会：第1回 2026年7月21日 福岡リーセントホテル

- ・講演会、企業見学会、製品開発研究会について

第2回 2027年4月 インテリア研究所

- ・2026年度事業報告、2027年度事業計画について

技術部会：第1回 2026年8月～2026年12月 講演会

第2回 2026年8月～2026年12月 見学会

講演会1回、見学会1回(BS久留米、アサヒシューズ、ムーンスター等を予定)

(5-4) 機械・電子技術部会

機械・電子技術部会では、会員企業の要望に応じた技術講演会や企業見学会等の実施を予定。

委員会：第1回 2026年6月頃 機械電子研究所

- ・2025年度事業実績報告等(確定版)
- ・2026年度事業計画等についての審議

第2回 2026年10月頃 委員所属または機械電子研究所

- ・2026年度活動実績及び収支実績(12月末現況)等(レビュー)
- ・2027年度事業計画方針及び収支予算方針等の検討

第3回 2027年2月上旬頃 書面審議

- ・2026年度活動実績及び収支報告(見込み)等の審議
- ・2027年度事業計画方針及び収支予算方針等の審議

技術部会：第1～8回 2026年4月～2027年3月

講習会6回、見学会1回(アスカコーポレーション、正興電機製作所、テルモ山口、九州電化等を予定)・展示会出展1回(ロボット産業マッチングフェア北九州2026)

2026年度 福岡県工業技術センタークラブ収支予算書(案)

2026年4月1日から2027年3月31日

1. 収入の部

単位:円

科目	2025予算	2026予算	増減	備考
前年度繰越	1,127,386	1,021,836	-105,550	事務局・4部会繰越
会費	2,540,000	2,590,000	50,000	会員:259機関 年会費:10,000円
先端シンポ	300,000	270,000	-30,000	3,000円×90人(交流会参加費)
その他	100	3,000	2,900	利息(事務局、4部会)
収入の部合計	3,967,486	3,884,836	-82,650	

2. 支出の部

単位:円

科目	2025予算	2026予算	増減	備考
会議費	5,000	5,000	0	理事会(郵送費、飲料代等)
事業費	3,110,000	3,360,000	250,000	
	1,400,000	1,700,000	300,000	総会・先端技術シンポジウム開催費
	100,000	100,000	0	生産性向上研究会
	750,000	700,000	-50,000	工業技術センタークラブPR活動費 (モノづくりフェア展示代、新聞広告代等)
	60,000	60,000	0	モノづくりフェア、工技センター研究成果発表会 60,000
				開催案内郵送費 30,000
				チラシ印刷・事務用品 30,000
	800,000	800,000	0	技術部会事業費 800,000
				ナノテク・材料技術部会 200,000
				バイオ技術部会 200,000
事務費	150,000	150,000	0	郵送費 120,000
				事務用品代 30,000
予備費	702,486	369,836	-332,650	
支出の部合計 (予備費含む)	3,967,486	3,884,836	-82,650	

会費の改定（案）

1. 背景と目的

昨今の物価高騰等の影響により、当クラブの単年度収支は直近4年連続で赤字となっており、繰越金を取り崩しながら事業を運営している状況にある（図1）。2001年の設立以来、会費を据え置き、経費節減に努めてきたが、2026年度にはさらなる支出の増加が見込まれている。一方、部会事業の支出が減少している現状に対し（図2）、各部会から部会事業の充実化に向けた部会予算増額の要望が寄せられている。

こうした状況を踏まえ、会員企業のさらなる成長・発展に向けた「部会事業の強化」、および主要事業である「先端技術シンポジウム」や「展示会出展支援」を継続的に実施するための財源確保を目的に、会費の改定を提案する。

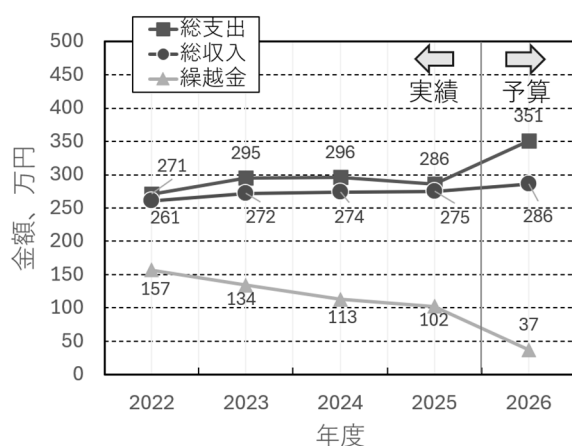


図1 会計収支の状況

(実績：2022～2025年度、予算：2026年度)

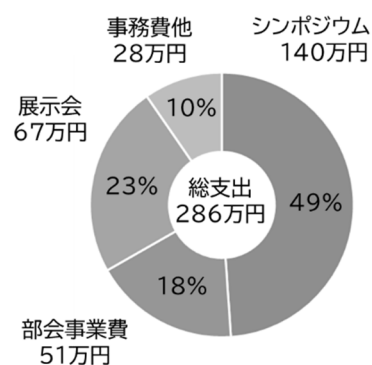


図2 支出実績（2025年度）

2. 改定案の内容

2027年度より、正会員の会費を現行の年額1万円から1万5千円に改定する。

3. 改定による会計収支の見込み

会費改定を行った場合の2027年度予算及び収支の見込みについて、表1に示した。表中には、2025年度実績、2026年度予算を合わせて記載している。表より、2026年度は大幅に繰越金が減少するものの、2027年度の会費改定による収入増により、部会予算を140万円に増額でき、全ての主要事業を実施した場合においても、当該年度の収入で支出を賄えるようになる。

2027年度の支出予算の内訳の見込みを図3に示す。2025年度（図2）と比較して、部会事業の拡充に伴い、部会予算が全体に占める割合は18%から31%に増加する見込みである。

表1 会費を改定した場合の予算および収支の見込み 【単位：万円】

会計年度		2025 実績	2026 予算	2027 予算
総収入		275	286	415
総支出		286	351	391
収支		－11	－65	24
繰越金		102	37	61
支出 内訳	総会・シンポジウム	140	170	170
	部会事業費（4部会合計）	51	80	120
	展示会出展費	67	70	70
	事務費他（生産性向上研究会含む）	28	31	31

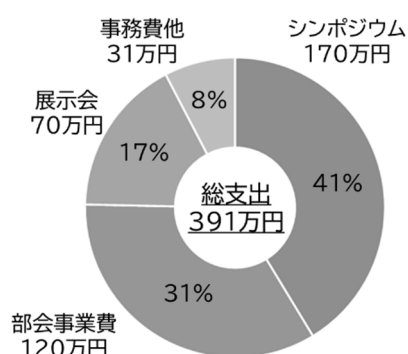


図3 2027年度予算（支出額）とその内訳

4. 2027年度部会事業の拡充案について

会費改定により、各部会事業の拡充に加えて先端技術シンポジウムや展示会出展支援事業などの既存事業を継続的に実施することが可能となる。当クラブには多岐にわたる産業分野の企業が所属しており、全体共通の課題設定には難しさもあるが、それゆえに専門性の高い技術部会の活動が極めて重要である。部会事務局で検討した部会事業の拡充案を以下に記す。2026年度の各部会委員会において、本案を「素案」として2027年度の事業内容を検討し、決定する。

① 技術交流・連携の強化

- 技術交流会： 研究所を含む会員企業間のシーズ・ニーズマッチング
- 研究所見学会： 研究所の最新設備を見学、紹介
- 川下企業とのマッチング： 設計者(デザイナー)及び大手企業とつながる機会を創出
- 企業見学会： 企業単独では訪問困難な企業の見学

② 開発人材の育成強化

- ワークショップ： 実践スキル(商品開発、販促、デジタル活用等)を習得
- 技術講習会： マンツーマン指導で、開発に必要なスキルを習得
- 講演会： 企業単独では招聘困難な専門家、講師による講演

5. 主催イベントの非会員の参加について

これまで、先端技術シンポジウムおよび部会が開催する技術講演会は、センタークラブへの新規入会者勧誘を目的として、非会員の参加を無料としてきた。しかしながら昨今では、非会員の参加者が入会に至るケースは少なく、結果として会員のメリットを損なう結果となっていた。そこで、会費改定と合わせて、2027年度の先端技術シンポジウムから会員のみの参加を原則とし、非会員が参加する場合は有償とすることについて、2027年度の先端技術シンポジウム実行委員会にて諮ることとする。

6. スケジュール

2027年 1月： 会則改定通知の送付
2027年 4月： 新会費の適用開始

役員の選任（案）

現役員の任期は 2 0 2 6 年総会までであるため、福岡県工業技術センタークラブ会則第 1 0 条第 1 項に基づき、下記の役員を選任するものである。

記

- | | | |
|---|-----|---------|
| 1 | 会 長 | 1 名 |
| 2 | 副会長 | 3 名以内 |
| 3 | 理 事 | 1 5 名以内 |
| 4 | 監 事 | 2 名 |

福岡県工業技術センタークラブ役員名簿(案)

(2026年総会終結時から2028年総会まで)

役員	企業名	役職	氏名	
会長	株式会社安川電機	代表取締役会長兼社長	小笠原 浩	
副会長	株式会社 CGS ホールディングス	代表取締役社長	塩田 聖一	
副会長	リックス株式会社	代表取締役社長 執行役員	安井 卓	現理事 新任
理事	株式会社高田工業所	代表取締役社長	高田 寿一郎	
理事	株式会社フジコー	代表取締役会長	山本 厚生	
理事	一番食品株式会社	代表取締役社長	有吉 崇	
理事	株式会社メイホー	代表取締役社長	永松 克彦	
理事	株式会社ピーエムティー	代表取締役	京谷 忠幸	
理事	中村産業開発株式会社	代表取締役社長	中村 一義	
理事	昭和鉄工株式会社	代表取締役社長	日野 宏昭	
理事	株式会社イシモク・コーポレーション	代表取締役社長	石井 康博	
理事	オタライト株式会社	専務取締役	梅野 慧	新任
理事	一般財団法人日本食品分析センター 福岡事務所	所長 受託サービス部副部長	中西 徹	新任
理事	株式会社ピラミッド	代表取締役社長	山田 誠	新任
監事	中島ゴム工業株式会社	代表取締役社長	中島 幹雄	
監事	福岡県醤油醸造協同組合	理事長	藤 浩太郎	

